

# 福井ふるさと学びの森 若狭エリア 第5回体験イベント 「山の神さまにごあいさつ」

- 1 日時 平成27年12月6日（日）10:00～15:00
- 2 場所 福井ふるさと学びの森（若狭町気山）
- 3 参加者 小学生親子等18名
- 4 内容

## (1) なるほど！山の神さま

里山里海湖研究所の中村研究員から、山の神さまについての説明がありました。

日本では古くから八百万の神のように、自然のもの全てに神が宿っていると考えられてきました。中村研究員は言い伝えや風習など、人の暮らしの身近にあった神さまについて、絵やイラストなどを使って紹介していきます。

参加者たちはどこかユニークな側面を持つ神さまの話や、ところどころで入ってくる少し怖い話を興味津々で聞いていました。



説明をする中村研究員



参加者はかなり集中して聞いています。

## (2) ドキドキ！森のほころにごあいさつ

学びの森から少し林道を歩いたところに、小さなほころがあります。

研究所のふるさと研究員でもある里山ねっこの萩原さんからお供え物を受け取った参加者は、しずしずと林道を歩いてほころへ行きます。全員一度にはほころへ行かず、家族単位の少人数で順番にお参りしました。



持って行くお供え物を受け取る参加者



お供え物は魚や野菜、お米など、海湖の幸や里の幸です。

いつもは元気いっぱいの参加者も、この時はみんな神妙な顔つきです。それもそのはず、「ふざけてやるとバチが当たるよ」中村研究員の先程の話が効いています。少人数で静かな林道の中を歩くと、ちょっと寂しく、少し肝試しにも似た雰囲気があります。

ほころでは、中村研究員がお参りのやり方を説明します。「怖くないよ」と言いつつ、ちゃんと作法を守ってお供えをする参加者達、しっかり「神さま」を感じてくれたようです。



お供え物をこぼさないよう、気を付けて歩いています。



ほこらの前は傾斜が急、ちょっとした難関です。



無事にお参り



お参りのやり方やほこらについて説明する中村研究員

お参りを終えたり順番待ちの参加者は、森の中で紙に書いてあるものを探すネイチャーゲームを楽しみました。探す内容は、ちょっと気味が悪いところや、不思議な形の木など。参加者は、自分が見つけた不思議な形の木を詳しく説明してくれました。

### (3) ワクワク！山の幸をいただきます(昼食)

みんながお参りを済ませた後はお昼ごはん。山の神さまに魚や野菜、お餅といった海湖の幸や里の幸をお供えし、山の神さまからいただいたのはシカやイノシシのお肉といった山の幸です。

先程のお供え物も使い、みんなで料理を行います。お供えものの「お下がり」を食べるといのは、神さまと一緒に食事をいただく(共食)という意味があります。

みんなでわいわい話をしながら料理をする参加者。「一緒に料理しながらだと初めて会う人とも話げできた。」とのこと。なるほど、神さまと一緒に食事するとなんだかご利益がありそうですね。



みんなで協力して野外料理です



食事の後はふりかえり。「今回のイベントで神さまを感じた人」という問いにみんな手を挙げます。今回のイベントで、人が里山等の自然に対して抱いてきた恐れや感謝といったものをしっかり体験できたのではないでしょうか。